

2023年度

KP活動報告書

 KP神奈川精神医療人権センター

2023年度 KP活動報告

発行：KP神奈川精神医療
人権センター

編集：KP事務局

日付：2024年6月発行

2023年度について

2023年度もKPはたくさんの方のご協力を得ながら活動を行うことができました。本当にありがとうございました！

2023年度は、電話相談の他に病院への見学訪問にも力を入れた年でした。6病院（+大阪にある新生会病院にもお邪魔しました）の見学記録をまとめた「かながわ精神科病院訪問記 Vol：1」も年度末に発行することができました。皆様、ぜひお手にとってご覧下さい。

相談件数949件！

2023年度、KPが受けた相談件数は949件にのぼりました。前年度の844件よりも105件増となりました。

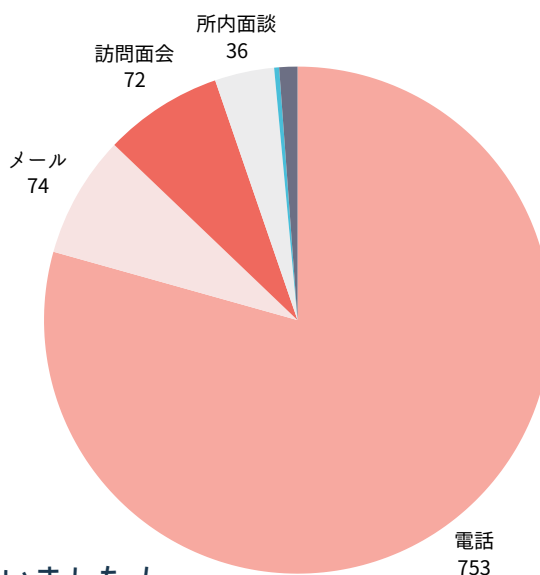
相談形態で多いものは…

電話相談（753件）

メール相談（74件）

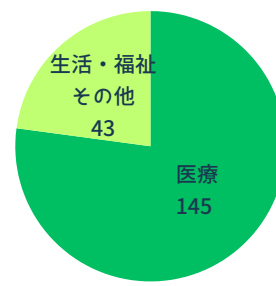
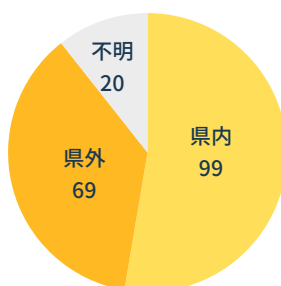
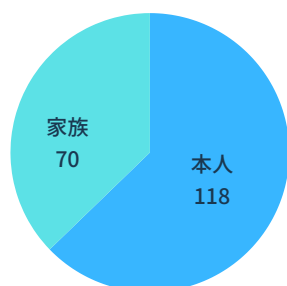
訪問面会（72件）となっています。

ボランティアと皆さんと協力して相談活動ができました。ありがとうございました！



新規相談188件！

新規相談が188件ありました。内訳は以下になります。



2023年の活動

講演会 (1回開催)

大熊一夫さん講演会
参加者72名



勉強会・講演会 (4回開催)

成田洋樹さん、和気隆三さんたちをお迎えして
勉強会・講演会を開催しました！／参加者合計133名

講演活動 (9回実施)

専門職養成校4校
福祉事業所等5ヶ所で実施

事業所説明 (7回実施)

県内精神科病院2ヶ所
福祉事業所等5ヶ所で実施



雑誌・新聞 (4回掲載)

『週刊金曜日』『朝日新聞』『福祉新聞』『精神
保健福祉』に記事が掲載されました！

学会・論文 (3回)

『精神保健福祉』『日本精神保健看護学会』
『日本公衆衛生学会（日本公衆衛生雑誌）』

TV出演 (1回)

NHKハートネットTVで
ちょこっと、映りました！

病院訪問プロジェクト

2023年度は病院訪問に力を入れた1年でした。
6病院に見学を受け入れていただき、
ボランティアと事務局で行ってまいりました！

訪問させていただいた病院は

- ・ あさひの丘病院
- ・ 横浜日野病院
- ・ 聖マリアンナ医科大学病院
- ・ 横浜ほうゆう病院
- ・ 江田記念病院
- ・ 富士見台病院

「かながわ精神科病院訪問記 VOL：1」
に詳細をまとめてあります。
必要な方はぜひ事務局にお声掛け下さい。



定例会

2023年度も毎月、第一火曜日に定例会を行いました。

定例会参加延べ人数

現地参加 245名

オンライン参加 131名

定例会では、活動報告の他、KPの理念や広報について話し合いました。

ゲストスピーカーとして、長谷川利夫さん（精神科医療の身体拘束を考える会）や成田洋樹さん（神奈川新聞社）にお越しいただき、お話をいただきました。



PICK UP

7/4 来場17名 オンライン14名

長谷川利夫さんを交えて、6/9に行われた『身体拘束大臣告示の改悪問題の追及を通してあるべき民主主義の姿を考える院内集会』および『厚労省前行動』について報告し、話し合いました。また、7/1開催の『シンポジウム～滝山病院事件の現状・背景・私たちにできること』の参加者が報告を行いました。また、6/30NHKのEテレで放映された『バリバラ』に出演した堀合さんから報告がありました。

9/5 来場38名 オンライン17名

特別企画『鍵をあける 虐待からの再出発』～中井やまゆり園での取り組みをテーマに、障害をもつ方の権利擁護や地域移行について話し合おう～成田洋樹さんや県の改革チームの関係者の方を講師にお迎えして中井やまゆり園改革チームの取り組みのご報告をいただき、強度行動障害の方への支援の在り方、精神科医療における行動制限の処遇などについて話し合いました。

ミニミーティング

2023年度は電話相談ミニミーティングを、オンラインと現地のハイブリッド開催で行いました。その結果、現地まで来ることができない人にもご参加いただき、チームで情報共有することができました。

ミーティングで自分が受けた相談について共有する中で、安心して相談に戻れるというお声をいただきました。ボランティア同士が顔を見ることが出来る時間にもなりますので、ご参加可能なかたはぜひぜひ、いらしてください！

和氣先生が いらっしゃいました！

2023年度は、新生会病院の和氣先生がさざなみ会に見学とご講演に来てくださいました。先生はご寄付や励ましのお電話など、さまざまな形でKPを応援してくださっています。実際にさざなみ会に来て私たちの活動を見ていただいて、講演会のあとは一緒にご飯も食べることができました。これからも、どうぞよろしくお願い致します！



ピアアドボケイト研究会



ピアアドボケイト研究会は、2023年度は話し合ったことをまとめたHP・論文・DVDを発表しました。その他にペンシルベニア大学のフィリスソロモン先生をお迎えし、ピアについての講演会を実施しました！参加者の皆さんと、大阪大学の蔭山先生、横浜創英大学の横山先生と一緒に、当事者が生活の中で感じる苦しいこと、そこから考える「私たちができること」について時間をかけて話し合いました。



ピアアドボケイトの
HPはこちら！



論文はこちら！



「ピアードボイス」
冊子はこちら！

東京家政大学人文学部教育福祉学科
『精神保健福祉の原理』のゲストスピーカー
2023年10月6日



東京家政大学人文学部教育福祉学科『精神保健福祉の原理』のゲストスピーカーに招かれ、くーちゃんとして登壇しました。KPから風書さん、おーちゃん、三瓶さんと発表してきました。

私は「生徒さんが女子ばかり」と講演しているときは気づかず（笑）後で女子大と知ってびっくり！60名くらいの学生さんで教室が埋め尽くされていました。最近、私の話をよく聞いて“大丈夫”と励ましてくれる17歳の時からお世話になっているメンタルクリニックの主治医（恩師）を亡くしたお話をしました。その先生に「色んなことがあっても大丈夫」と教わりました。先生は「色んな自分、出来ない自分、出来る自分、両方共存していいんだよ！そのうち出来る自分が勝つ！」と言ってくれました。その先生との出会いがきっかけでポジティブに考えられるようになり、いろいろなことが大丈夫になったという経験をお話しました。KPでは一人でも多くの相談者様に元気になっていただきたく、『頭のどこかで大丈夫って思っておけば大丈夫になると思いますのであまり気を落とさないでください』とお伝えしていることも学生さんに伝えました。

学生さんは一生懸命メモを取って聞いてくれました。印象に残った質問で、『KPの電話相談をしていて嬉しかったことはありますか？』というものがあり、先日、『くーちゃんの“大丈夫”の言葉に救われました』とおっしゃられた方がいらっしゃり、とても嬉しかったことをお伝えしました。後日、リアクションペーパーを読ませていただき、学生さんにも『大丈夫』の言葉が大反響だったと知り、学生さんの心に響いて本当に話してよかったと心の底から思いました。また機会があればぜひ学生さんと交流したいと思います。是非よろしく願いいたします。（くーちゃん）

630調査

今年度も、630調査の情報開示請求を神奈川県に依頼し、2022年度分のデータをHP・冊子で公開しました。

冊子は、診療所と訪問看護ステーションのデータをまとめました。お求めの方は事務局までご連絡ください！



第66回 日本病院・地域精神医学会総会 神奈川大会

2023年12月16・17日に、第66回日本病院・地域精神医学会総会の神奈川大会が神奈川県立保健福祉大学で開催されました。三吉譲大会長のもと、KPメンバーの奥原先生が運営委員長を務め、事務局として三瓶さんと齋藤さんが運営に加わりました。『生きる基軸を求めて～基本に立ち帰っての提言～』をテーマにシンポジウムや演題発表報告会、交流会が行われ、学会員だけでなく、非会員の専門職、当事者、家族、学生、市民など全国から約350名が参加しました。



絵：風書なおき

奥原先生より

本学会は、2023年12月16日～17日の土日に開催されました。KPで学会事務局を引き受け、さざなみ会や県内の様々な方々に集まっていただき、開催1年前より運営委員会を毎月開催し、運営委員長として皆さんと準備を重ねました。またその方々のご紹介でさらに学会に必要な役割を多くの方々をお願いすることができ、当日を迎えました。

当日は、二日間で350名を超える方々にご参加いただき、皆さんから「よかったよ」、と言っていたいただき本当に嬉しかったのをはっきりと思い出します。しかも、医療専門職がほとんどのこれまでの学会とは全く異なり、当事者、ご家族、福祉関連の方々に多くご参加いただき、医療ではない支援の報告や意見交換等の企画が多くあり、皆の力が結集したことを実感したのをはっきりと思い出します。

実は、最初は実際の運営にも、運営費用的にも困難さを考え、事務局を担うことを大反対していました。さざなみ会の小堀理事長（当時）から協力してほしいと言われ、KPやさざなみ会の名前を知っていただく機会としてはまたとない機会として受け入れました。赤字になったら小堀理事長と折半しようとも考えていました。開けてみると黒字決算で運営経費としてKP事務局に多少入れることもできました。何と言っても、神奈川精神医療人権センターの名前を全国に知れ渡らせたことが、皆さんと出会えたことに加えて、嬉しかったことです。皆さん、本当にありがとうございました。

事務局より

病地学会の事務局をKPが担うことが決まったのは、2022年末のことでした。通例だと医療機関などが担うことが多いそうですが、神奈川で病地学会を開催するにあたっては「地域で」「ピアもみんなで」という学会からのご期待もいただきお引き受けしました。



自分たちで学術集会を運営できるのか、不安もありましたが、皆さんのご協力のおかげで、なんとか1年間の役目を終えることが出来ました。いただいたご縁や繋がりを大事にし、今後のKPの活動運営に活かしていければと思います。応援、ご協力、ありがとうございました。（三瓶、齋藤）



発行元： 認定NPO法人さざなみ会
KP神奈川精神医療人権センター

住所： 横浜市磯子区森3-14-3

電話： 045-353-5711

MAIL： kp.kanagawapeer@gmail.com

HP： <https://kanagawa-peer.com>



HPはこちら